



# 2018年6月期 第2四半期 決算説明資料

2018.02.23

## 1. 決算の概要

## 2. セグメント別状況

## 3. 2018年6月期（第60期）の見通し

## 4. 私たちの目指す価値

### 【本資料についてのご注意】

- 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に(株)構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

# 1

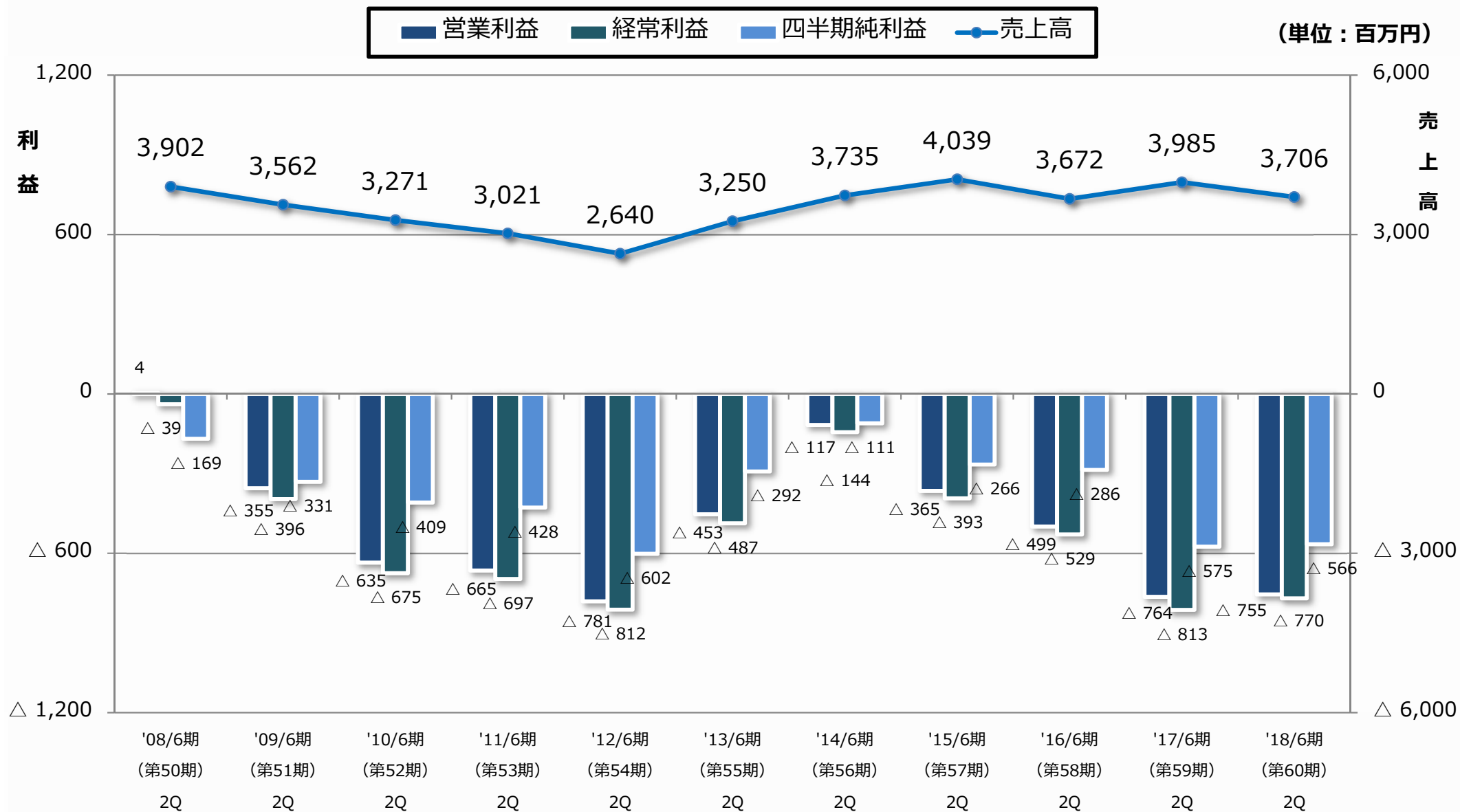
## 決算の概要

---



(単位：百万円)

	'17/6期 (第59期) 2Q	'18/6期 (第60期) 2Q	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	3,985	<b>3,706</b>	△ 278	△7.0%
売上原価	2,435	<b>2,129</b>	△ 305	△12.5%
売上総利益 (利益率)	1,550 (38.9%)	<b>1,576</b> (42.5%)	26	1.7%
販売費及び一般管理費	2,314	<b>2,332</b>	17	0.8%
営業利益 (△損失) (利益率)	△764 (△19.2%)	<b>△755</b> (△20.4%)	8	—
営業外損益	△48	<b>△ 15</b>	33	—
経常利益 (△損失) (利益率)	△813 (△20.4%)	<b>△770</b> (△20.8%)	42	—
特別損益	—	<b>△0</b>	△0	—
税引前四半期純利益 (△損失)	△ 813	<b>△ 771</b>	41	—
法人税等	△238	<b>△204</b>	33	—
四半期純利益 (△損失) (利益率)	△575 (△14.4%)	<b>△566</b> (△15.3%)	8	—
受注残高	6,939	<b>6,605</b>	△334	△4.8%



(単位：百万円)

	'17/6期 (第59期) 期末	'18/6期 (第60期) 2Q	増減額
<b>流動資産合計</b>	<b>3,177</b>	<b>3,845</b>	<b>668</b>
現金及び預金	411	651	240
売上債権	1,388	810	△578
仕掛品	549	1,303	754
<b>固定資産合計</b>	<b>7,305</b>	<b>7,402</b>	<b>97</b>
有形固定資産	5,156	5,140	△15
無形固定資産	455	459	3
投資その他の資産	1,692	1,802	109
<b>資産合計</b>	<b>10,482</b>	<b>11,247</b>	<b>765</b>

	'17/6期 (第59期) 期末	'18/6期 (第60期) 2Q	増減額
<b>負債合計</b>	<b>6,819</b>	<b>8,234</b>	<b>1,415</b>
<b>流動負債</b>	<b>3,763</b>	<b>5,296</b>	<b>1,533</b>
短期借入金*	1,045	2,983	1,937
未払費用	636	148	△488
<b>固定負債</b>	<b>3,056</b>	<b>2,938</b>	<b>△118</b>
長期借入金	1,095	893	△201
<b>純資産合計</b>	<b>3,662</b>	<b>3,012</b>	<b>△649</b>
利益剰余金	3,371	2,613	△758
<b>負債・純資産合計</b>	<b>10,482</b>	<b>11,247</b>	<b>765</b>

## 資産の変化 (765百万円)

- **流動資産の増加 (668百万円)**  
現金及び預金の増加 (240百万円)  
売上債権の減少 (△578百万円)  
仕掛品の増加 (754百万円)
- **固定資産の増加 (97百万円)**  
投資その他の資産の増加 (109百万円)

## 負債の変化 (1,415百万円)

- **流動負債の増加 (1,533百万円)**  
短期借入金の増加 (1,937百万円)  
未払費用の減少 (△488百万円)
- **固定負債の減少 (△118百万円)**  
長期借入金の減少 (△201百万円)

## 純資産の変化 (△649百万円)

- **利益剰余金の減少 (△758百万円)**
- **自己株式の減少 (50百万円)**

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

自己資本比率	34.9%	26.8%
--------	-------	-------

# 貸借対照表ハイライト（前期2Qとの比較）

（単位：百万円）

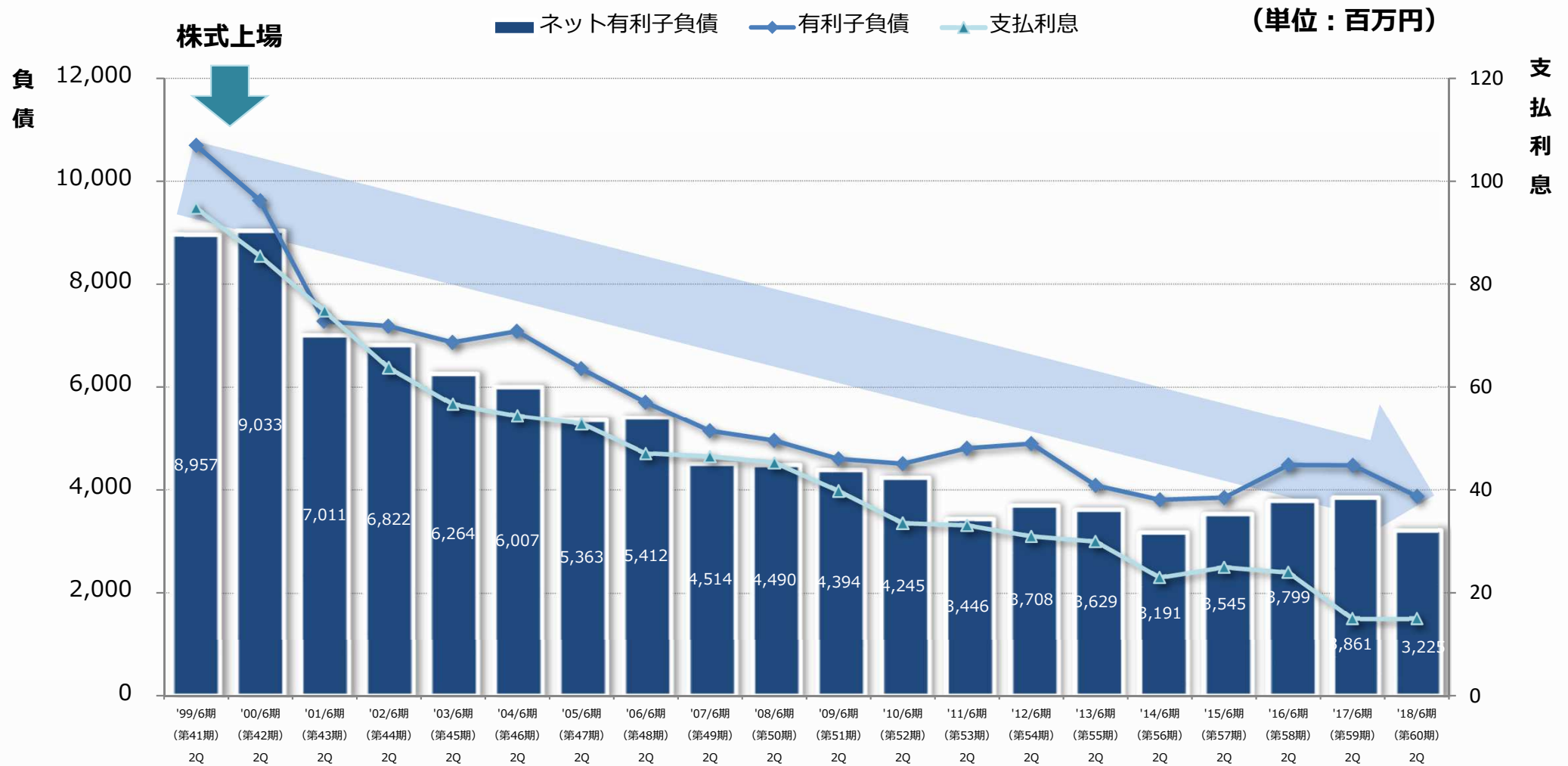
	'17/6期 (第59期) 2Q	'18/6期 (第60期) 2Q	増減額
<b>流動資産合計</b>	<b>3,896</b>	<b>3,845</b>	<b>△ 51</b>
現金及び預金	613	651	37
売上債権	729	810	80
仕掛品	1,477	1,303	△ 173
<b>固定資産合計</b>	<b>7,197</b>	<b>7,402</b>	<b>204</b>
有形固定資産	5,092	5,140	48
無形固定資産	447	459	11
投資その他の資産	1,657	1,802	144
<b>資産合計</b>	<b>11,093</b>	<b>11,247</b>	<b>153</b>

	'17/6期 (第59期) 2Q	'18/6期 (第60期) 2Q	増減額
<b>負債合計</b>	<b>8,673</b>	<b>8,234</b>	<b>△ 438</b>
流動負債	5,327	5,296	△ 30
短期借入金*	3,086	2,983	△ 102
未払費用	209	148	△ 61
固定負債	3,346	2,938	△ 408
長期借入金	1,388	893	△ 495
<b>純資産合計</b>	<b>2,420</b>	<b>3,012</b>	<b>592</b>
利益剰余金	2,275	2,613	337
<b>負債・純資産合計</b>	<b>11,093</b>	<b>11,247</b>	<b>153</b>

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

<b>自己資本比率</b>	<b>21.8%</b>	<b>26.8%</b>
---------------	--------------	--------------

# ネット有利子負債の推移





(単位：百万円)

	'17/6期 (第59期) 2Q	'18/6期 (第60期) 2Q	増減額
期首現預金残高	385	411	25
営業活動CF	△894	△1,232	△337
投資活動CF	△293	△226	67
フリーCF	△1,188	△1,458	△270
財務活動CF	1,415	1,698	283
期末現預金残高	613	651	37

## 営業活動CFの主な内容

税引前四半期純利益	△771
売上債権の減少	736
たな卸資産の増加	△755

営業活動CFの 主な減少理由	'17/6期 (第59期) 2Q	'18/6期 (第60期) 2Q	減少額
たな卸資産の増加	△500	△755	△255

## 投資活動CFの主な内容

投資有価証券の取得	△74
有形固定資産の取得	△75
無形固定資産の取得	△50

## 財務活動CFの主な内容

短期借入金の純増	2,130
配当金支払	△190

# 2

## セグメント別状況

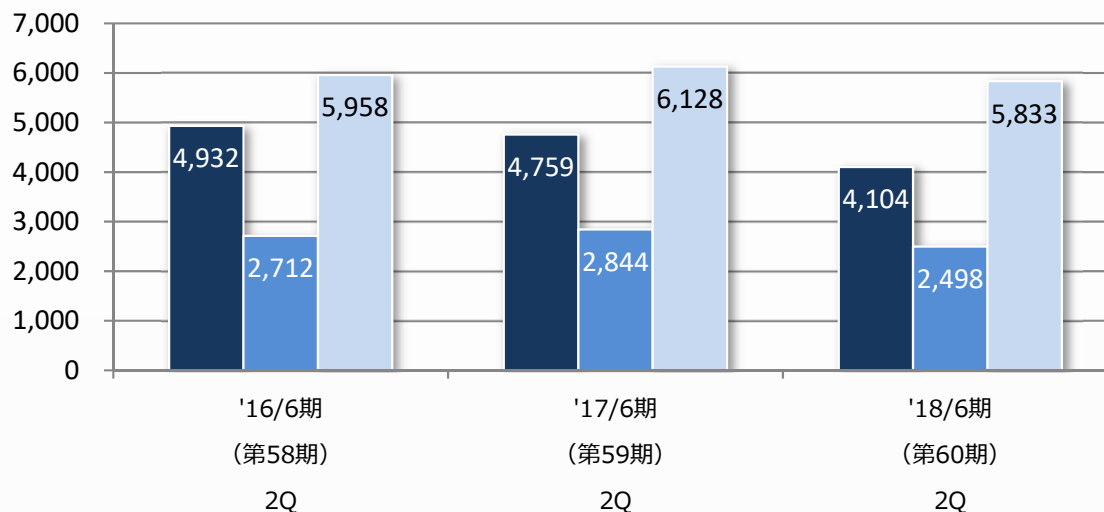
---



(単位：百万円)

	'16/6期 (第58期) 2Q	'17/6期 (第59期) 2Q	'18/6期 (第60期) 2Q	対前年同期 増減率
受注高	4,932	4,759	4,104	△13.8%
売上高	2,712	2,844	2,498	△12.1%
売上総利益 (利益率)	1,258 (46.4%)	1,124 (39.5%)	1,194 (47.8%)	6.2%
セグメント 利益 (利益率)	362 (13.4%)	137 (4.8%)	193 (7.7%)	40.2%
受注残高	5,958	6,128	5,833	△4.8%

■ 2Q受注高 ■ 2Q売上高 ■ 2Q受注残高



- ◆ 防災・耐震・環境評価コンサルティング
- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ マーケティングコンサルティング
- ◆ 最適化・物流システム

## 業績分析

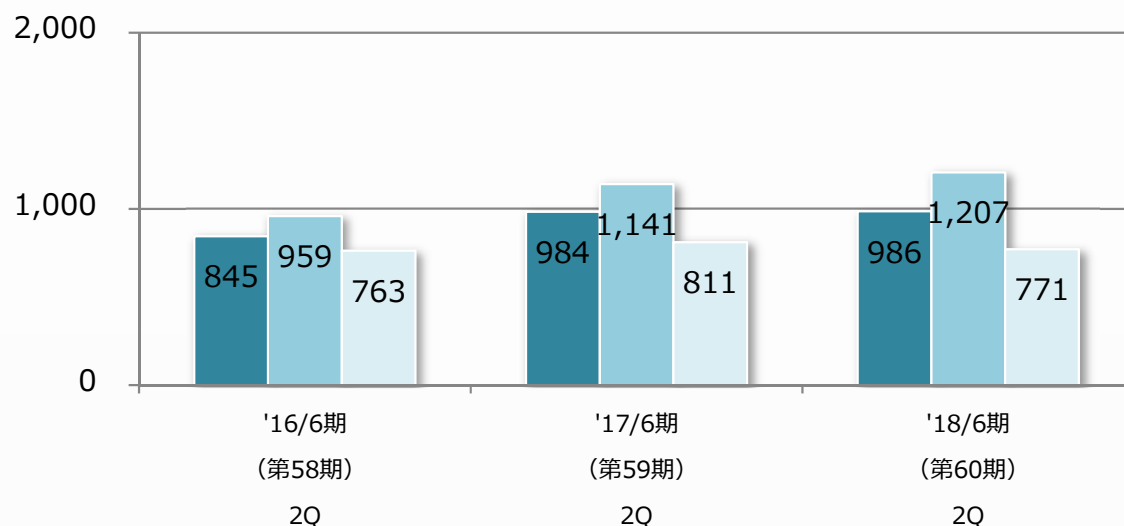
- 建築物の構造設計、住宅業界をリードするトップ企業からの差別化に向けた投資に対応するシステム開発業務及び防災・減災のための解析業務が堅調に推移
- 当第2四半期累計期間においては、前年同四半期累計期間と比較して、大型の不採算プロジェクトが存在しないため、減収となっているにもかかわらず、収益性は改善

(単位：百万円)

	'16/6期 (第58期) 2Q	'17/6期 (第59期) 2Q	'18/6期 (第60期) 2Q	対前年同期 増減率
受注高	845	984	986	0.2%
売上高	959	1,141	1,207	5.8%
売上総利益 (利益率)	329 (34.4%)	425 (37.3%)	382 (31.7%)	△10.2%
セグメント 利益 (利益率)	123 (12.9%)	271 (23.8%)	246 (20.3%)	△9.4%
受注残高	763	811	771	△4.9%

- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ クラウドメールサービス
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 統計解析ソフト
- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 画像認識ソフト
- ◆ 教育トレーニング

■ 2Q受注高 ■ 2Q売上高 ■ 2Q受注残高

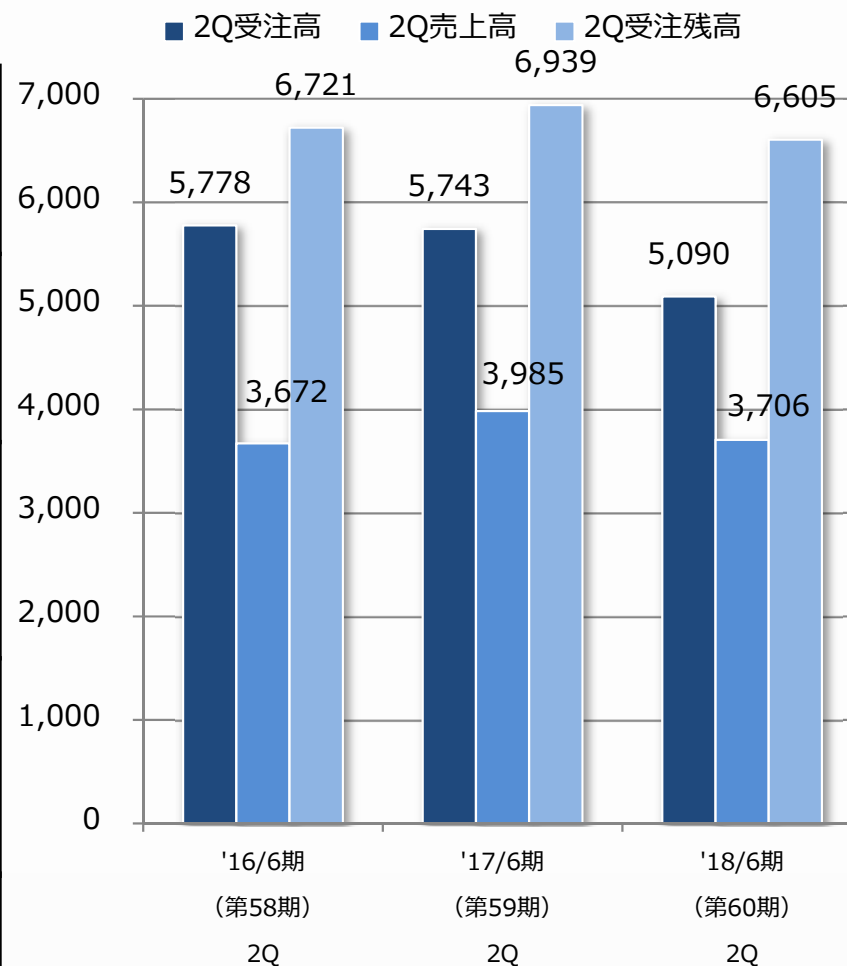


## 業績分析

- 設計者向けCAEソフト、クラウドベースのメール配信サービスなどの販売が好調に推移
- 販売活動の活性化による営業費用の増加等、本セグメントの費用は増加し、当第2四半期累計期間においては、前年同四半期累計期間と比較して、増収減益

(単位：百万円)

	'16/6期 (第58期) 2Q	'17/6期 (第59期) 2Q	'18/6期 (第60期) 2Q	対前年同期 増減率
受注高	5,778	5,743	5,090	△11.4%
売上高	3,672	3,985	3,706	△7.0%
売上総利益 (利益率)	1,588 (43.3%)	1,550 (38.9%)	1,576 (42.5%)	1.7%
セグメント 利益 (利益率)	486 (13.2%)	409 (10.3%)	439 (11.9%)	7.3%
受注残高	6,721	6,939	6,605	△4.8%



# 3

## 2018年6月期（第60期）の見通し

---



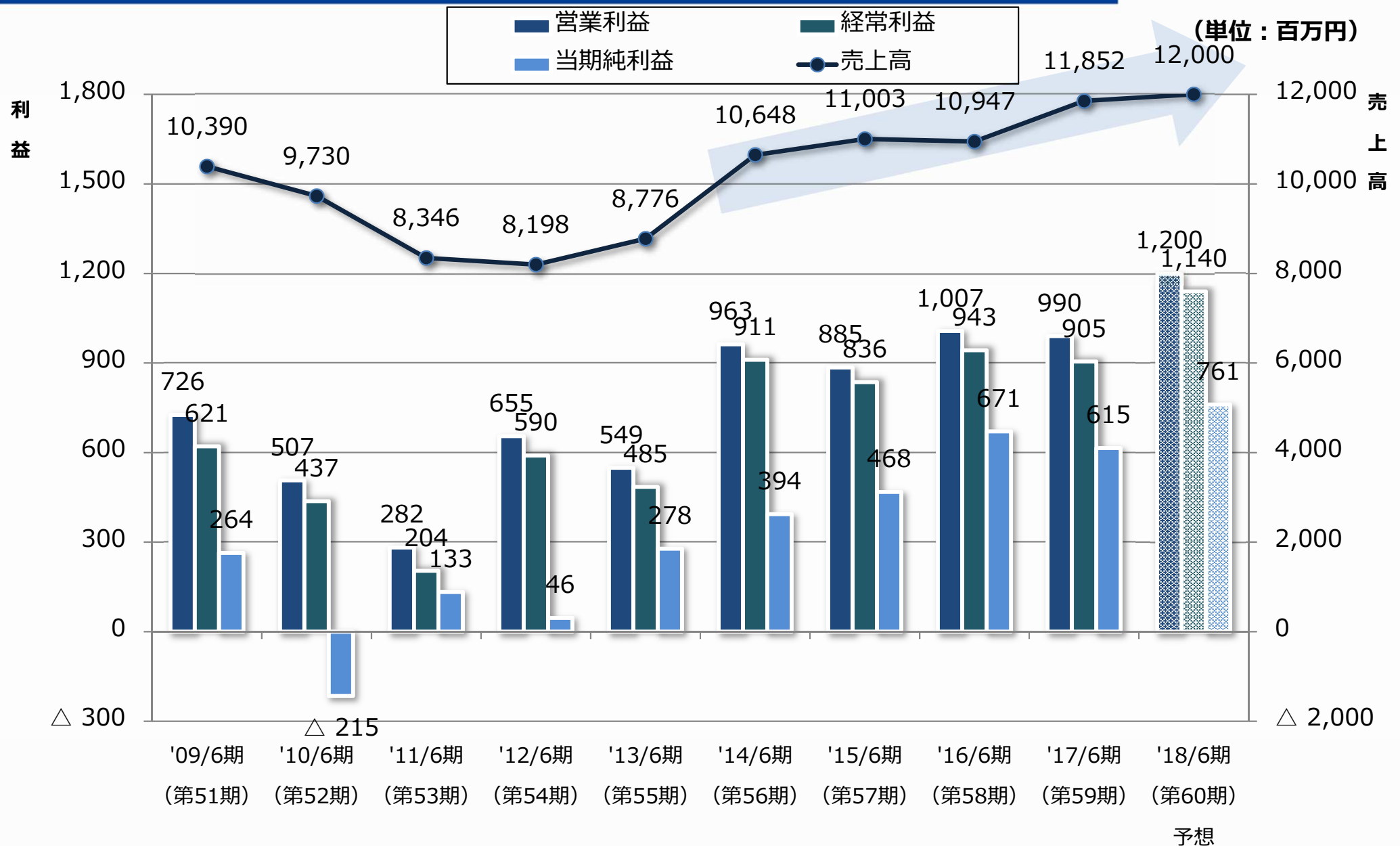
(単位：百万円)

	17年6月期 第59期	18年6月期 第60期 (予想)	増加額	増加割合
売上高	11,852	12,000	147	1.2%
営業利益	990	1,200	209	21.1%
経常利益	905	1,140	234	26.0%
当期純利益	615	761	145	23.7%

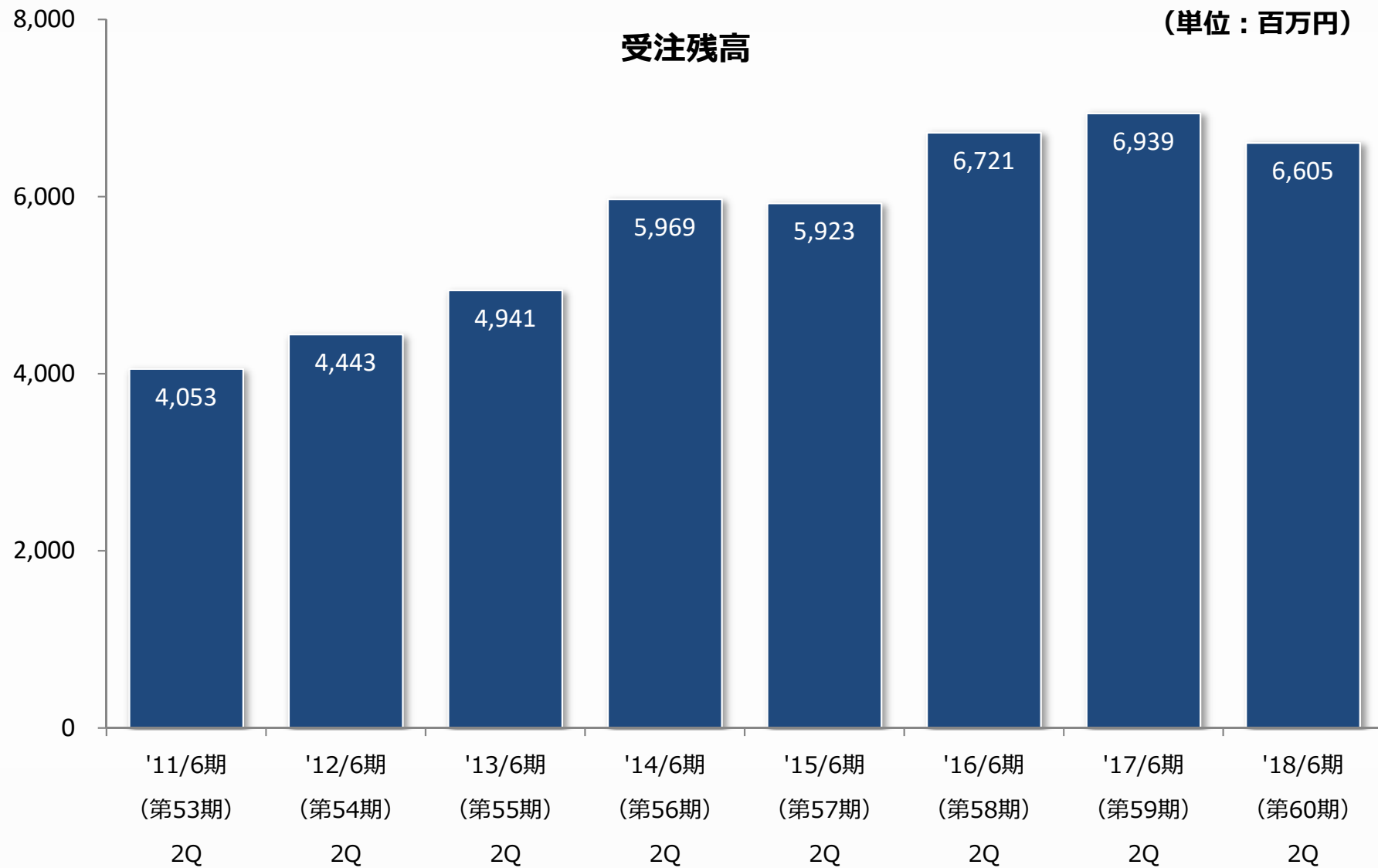
(単位：円)

年間配当金	60	70
-------	----	----

# 過去の業績推移と業績予想

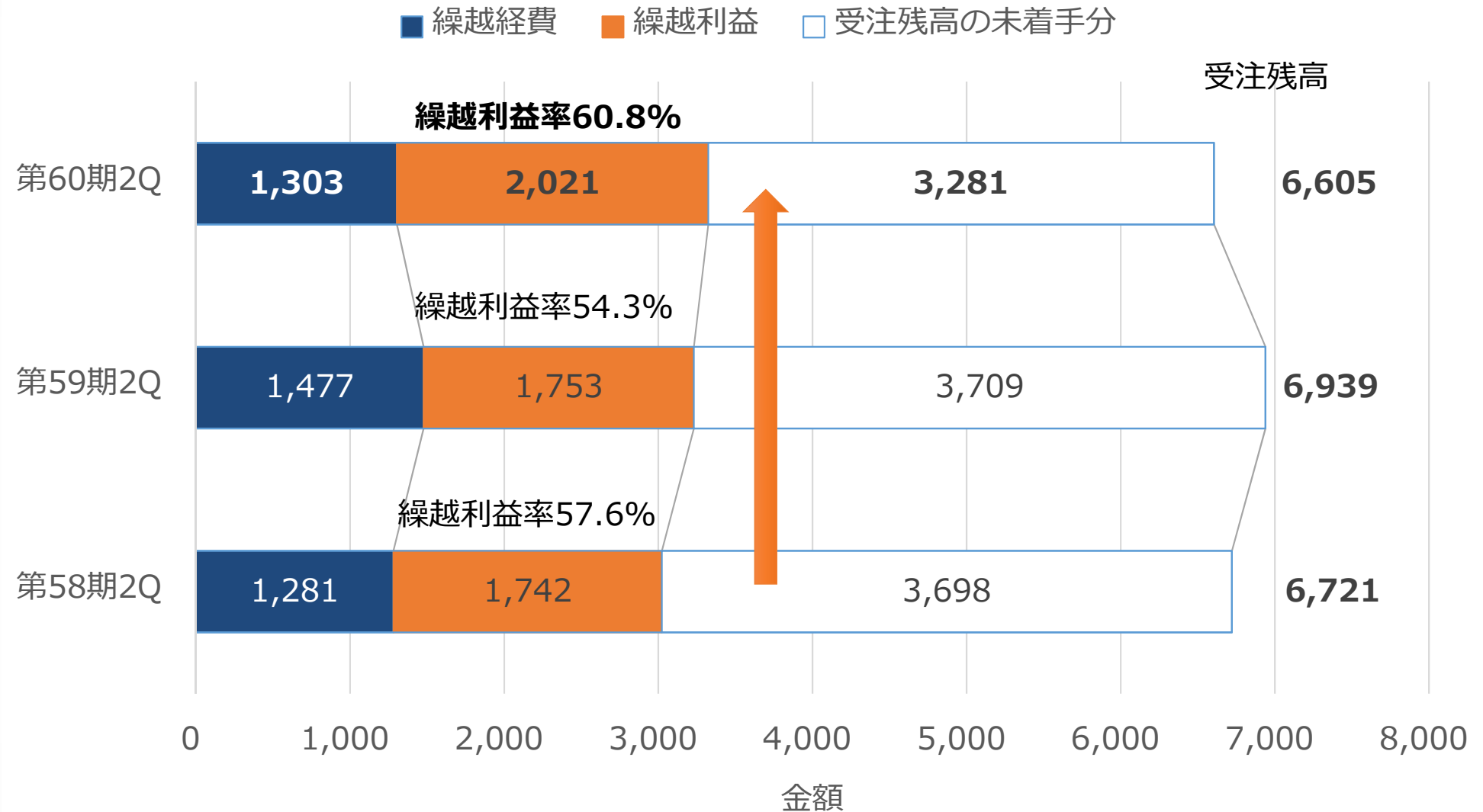






# 今期の利益状況

(単位：百万円)



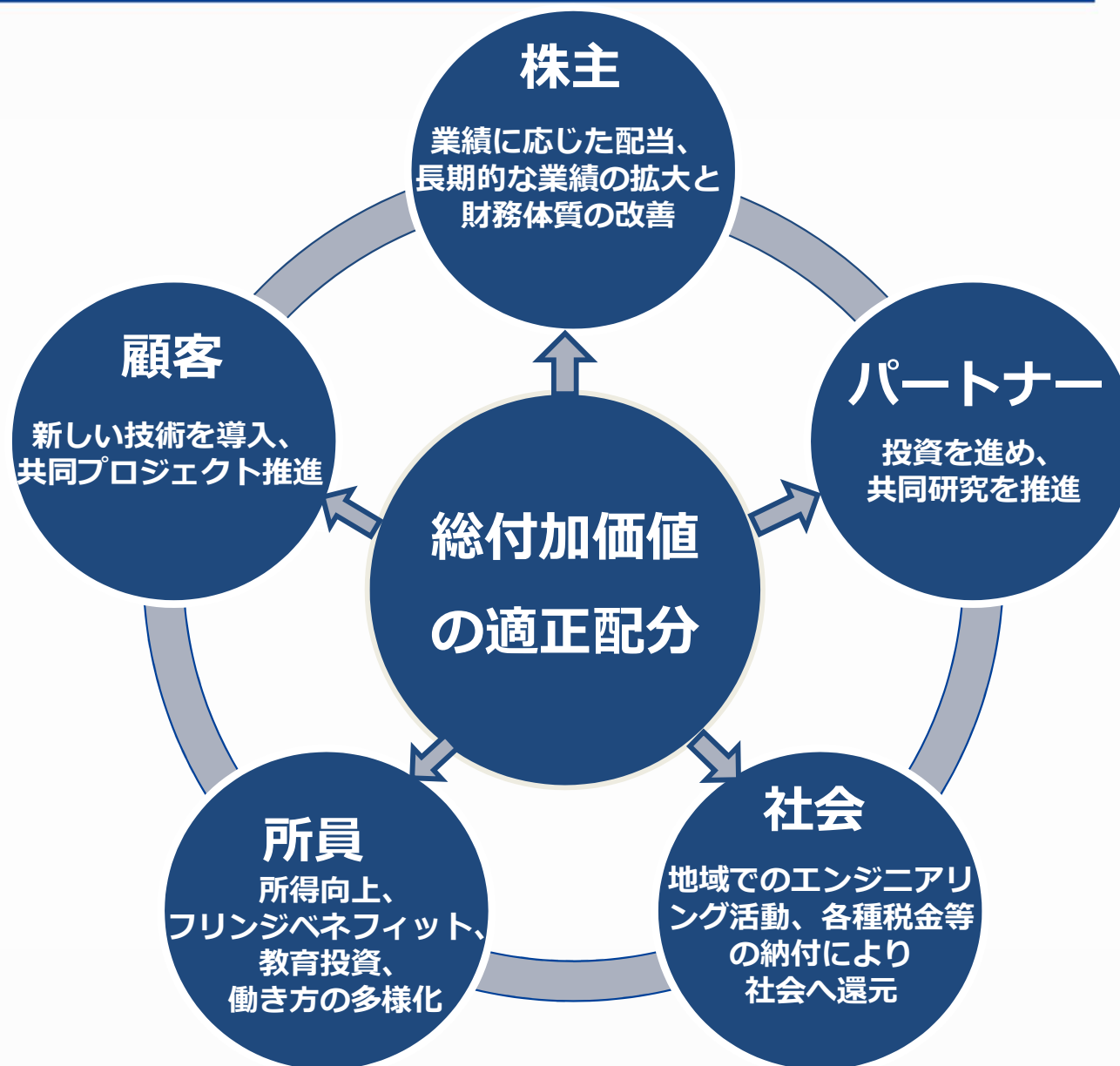
※当社 管理会計に基づく値

# 計画達成のための後期目標設定

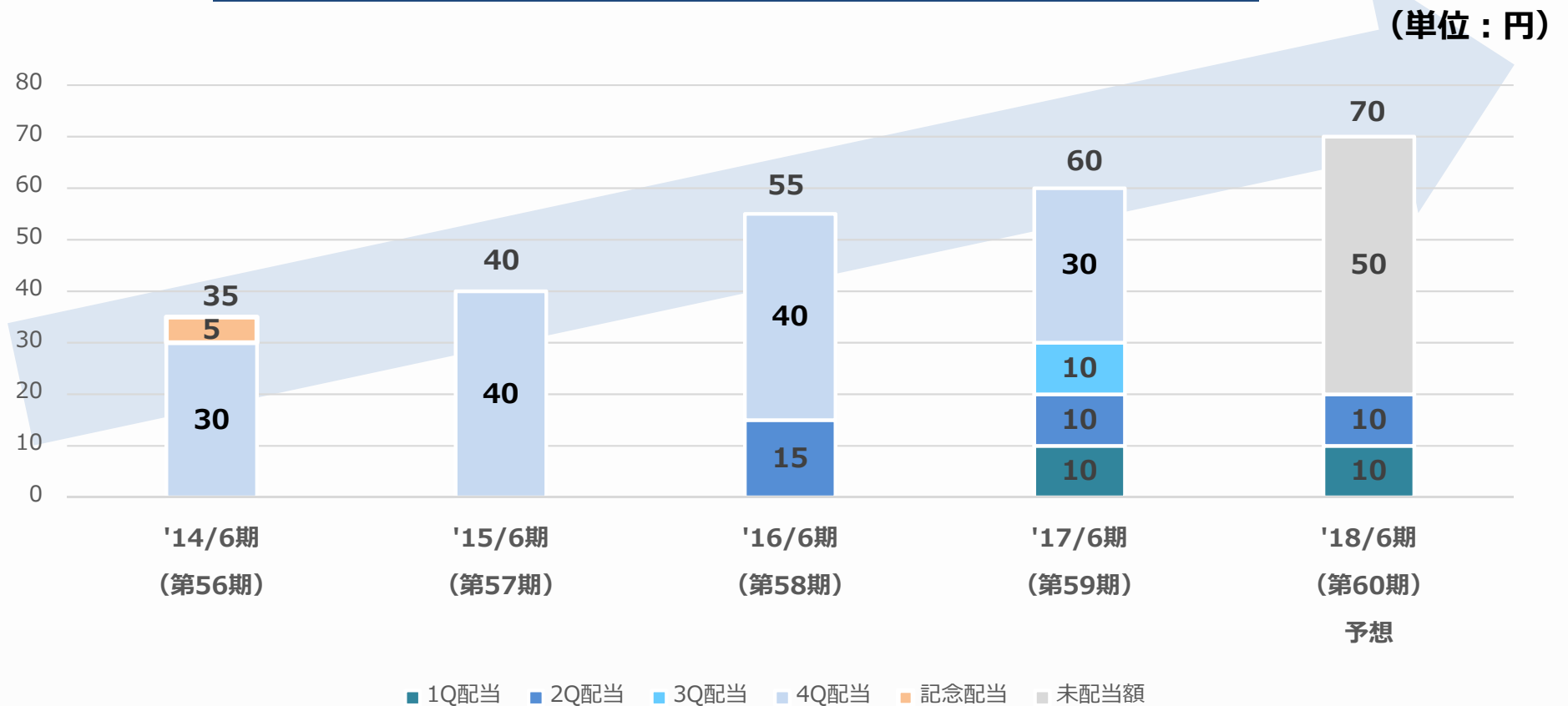
(単位：百万円)

	エンジニアリングコンサルティング				プロダクツサービス				合計			
	第1 四半期	第2 四半期	第3~4 四半期	通年	第1 四半期	第2 四半期	第3~4 四半期	通年	第1 四半期	第2 四半期	第3~4 四半期	通年
売上高	1,094	1,405	<b>6,971</b>	9,470	556	652	<b>1,322</b>	2,530	1,650	2,056	<b>8,293</b>	12,000
売上原価	599	706	<b>3,277</b>	4,581	392	433	<b>846</b>	1,671	991	1,139	<b>4,123</b>	6,253
売上総利益	495	699	<b>3,695</b>	4,889	164	218	<b>476</b>	859	659	918	<b>4,171</b>	5,747
売上総利益率	45.2%	49.8%	<b>53.0%</b>	51.6%	29.5%	33.5%	<b>36.0%</b>	33.9%	39.9%	44.6%	<b>50.3%</b>	47.9%
販管費									1,087	1,246	<b>2,215</b>	4,547
営業利益									△ 428	△ 328	<b>1,956</b>	1,200
営業利益率									△25.9%	△15.9%	<b>23.6%</b>	10.0%

- 下半期に高い売上高
  - 年間売上高の約70%が下半期に集中
- 下半期へ付加価値の高い案件を繰越
  - 下半期に繰越す案件の知価創出利益率は60.8%
  - 大型の不採算プロジェクトは存在しない



## 連続増配を目指す 適切な内部留保と事業投資状況を勘案しながら 中長期保有株主への利益還元を重視



# 4 私たちの目指す価値

---



## *Innovating for a Wise Future*

工学知をベースにした有益な技術を  
社会に普及させることで、  
より賢慮にみちた未来社会を  
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい

社会を創造するプロセスを言い表すため  
Innovatingを使用





## 継続的な事業拡大と人材育成を通じた企業価値の向上

### 事業の成長

- 経験曲線による高付加価値の追求
- 新規事業開発による事業拡大
- 本質的な問題の発見と解決策の実現による価値提供
- 知財のオープンな活用による付加価値向上

### 人材の育成

- 海外を含めた多様な人材の参画
- 自己成長の場の提供
- 産学連携による新たな工学知の探求

## 継続的な事業拡大と人材育成を通じた企業価値の向上

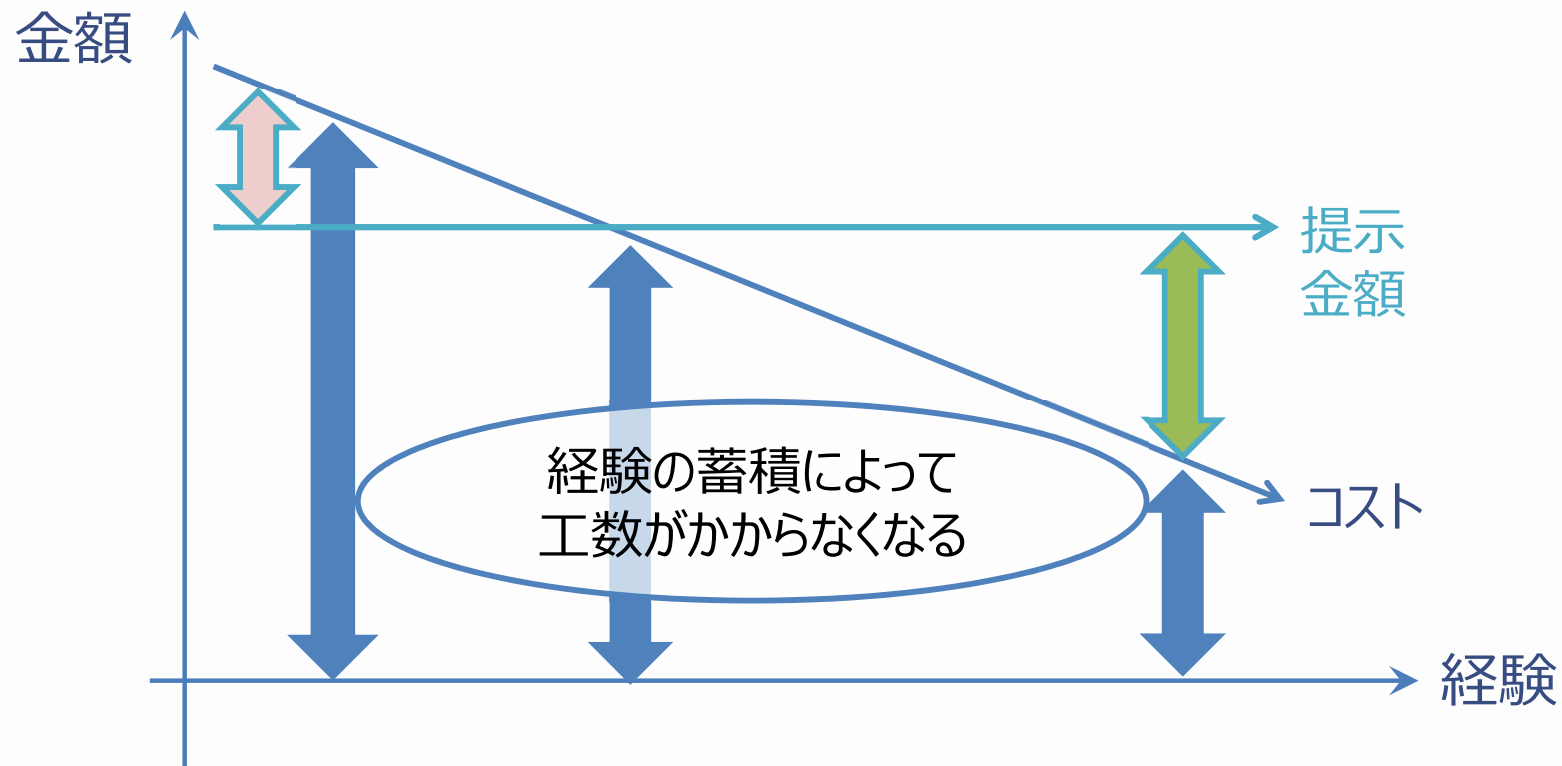
### 事業の成長

- 経験曲線による高付加価値の追求
- 新規事業開発による事業拡大
- 本質的な問題の発見と解決策の実現による価値提供
- 知財のオープンな活用による付加価値向上

### 人材の育成

- 海外を含めた多様な人材の参画
- 自己成長の場の提供
- 産学連携による新たな工学知の探求

経験曲線を利かせることで、初期は赤字でもプロジェクト全体としての価値を高めていく



付加価値の高い工学知の活用によって  
適正な対価を獲得するビジネスモデルを目指す

- 住宅業界における構造設計支援システム提供
  - 当社のルーツである構造設計技術を住宅分野にも展開
- 風力発電関連コンサルティング
  - 再生エネルギーの社会的要請の高まりを受け、当社の持つ構造設計に関する工学知を基にコンサルティング
  - 制度設計を含む産官学の連携による社会貢献
- コンテナ船積付けプランニングサービス
  - 日本郵船（株）の現場力と、当社が培ってきたオペレーションズ・リサーチ技術及びデータ分析技術を融合



投資先	投資時期	摘要
International Logic Corporation	2005年3月～	米国における情報収集を目的として設立
Vitracom AG	2006年8月～	ピープルカウンターを主力としたビジネスを展開
LockState, Inc.	2008年6月～	RemoteLockをはじめとした入退室クラウドサービスを展開
KKE SINGAPORE PTE. LTD.	2015年1月～	現地大学とのネットワークを通じ顧客開拓、外国籍所員も積極採用
Symphony Creative Solutions Pte.Ltd.	2016年3月～	日本郵船(株)や(株)ウェザーニューズと共同で設立
<b>海外 関係会社 (5社)</b>		

有限責任事業組合 住生活情報マネジメントシステム企画	2005年10月～	住宅履歴情報サービスにより豊かな住生活の実現に貢献
プロメテック・ソフトウェア(株)	2012年11月～	製品開発に有用な最先端CAE(流体解析)ソリューションを提供
GDEPソリューションズ(株)	2016年3月～	NVIDIA社GPU製品を活用した各種ソリューションを提供
<b>国内 関係会社 (3社)</b>		

けいはんな学研都市ATRベンチャーNVCC投資事業有限責任組合	2015年2月～	ロボット・無線通信・脳情報科学等の研究シーズのベンチャー事業化投資
MICイノベーション4号投資事業有限責任組合	2016年1月～	次世代ITサービスベンチャー事業化投資
<b>国内 VC (2社)</b>		



### SendGrid

米国コロラド州

- 2017年11月ニューヨーク証券取引所に上場
  - ✓ 時価総額約10億ドル（2018年2月時点）
  - ✓ 売上高約8千万ドル（2016年12月決算）
- Uber、Airbnbなどで利用され、順調に事業を拡大
- Amazon社のクラウドサービスAWSのパートナー認定

### LOCKSTATE

米国コロラド州

- RemoteLock等の製品の好調な販売実績により、売上が拡大
- 全米トラックガスステーションLovesや大手小売のTarget社と提携



NAVVIS

ドイツミュンヘン

- ドイツ大手自動車メーカーとの契約により、創業4年で140名の規模まで成長
- 創業者4名による経営権とドイツのベンチャーファンドからの資金提供により、堅実な経営を確保

vitracom®

ドイツカールスルーエ

- 3Dビデオ解析技術を保有する会社を吸収合併
- ピープルカウンターを活用したコンサルで、顧客拡大を目指す



- 米国での上場とともに開発元の米SendGrid社のビジネスは新しいステージへ
- 日本では2013年より当社がパートナーとしてビジネスを拡大
  - 到達性やセキュリティの向上、迷惑メール対策を提供し、企業の販促活動、マーケティング、CRM等への活用を支援



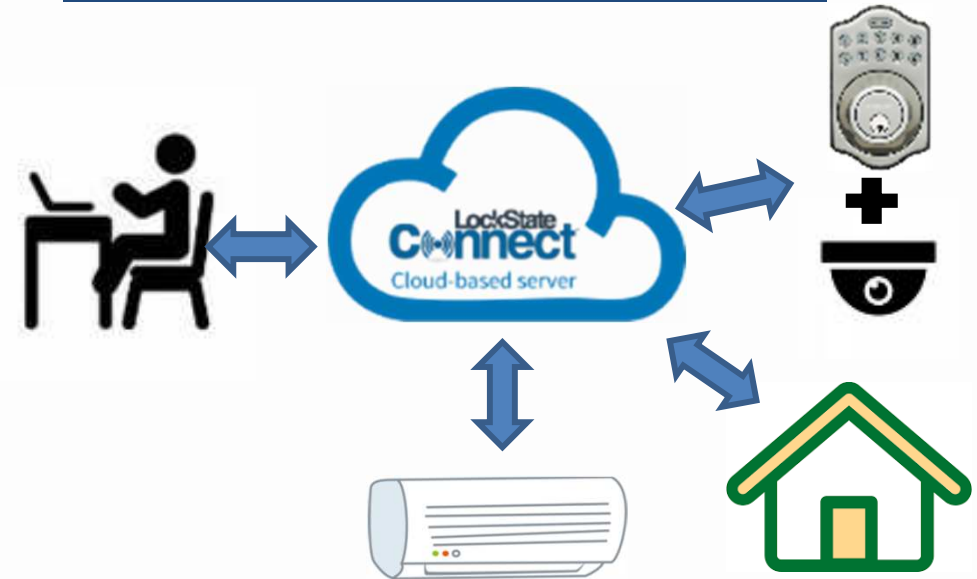
サービスの品質や安全性面で訴求力がより向上  
当社独自の高い品質のサポートを付加し、  
日本市場のさらなる開拓へ



### 入退室の一元管理を可能に



### クラウドシステムを用いた コネクテッドホームの実現へ



#### 導入事例

- インバウンド需要を狙う宿泊事業社に対し、チェックイン管理機能を提供
- オフィスセキュリティシステムと連携し勤怠管理履歴取得が可能に
- レンタルスペースにおいて無人運営でも万全なセキュリティ管理を実現

# 新規事業開発（産学連携） 粉体シミュレーションソフトiGRAF

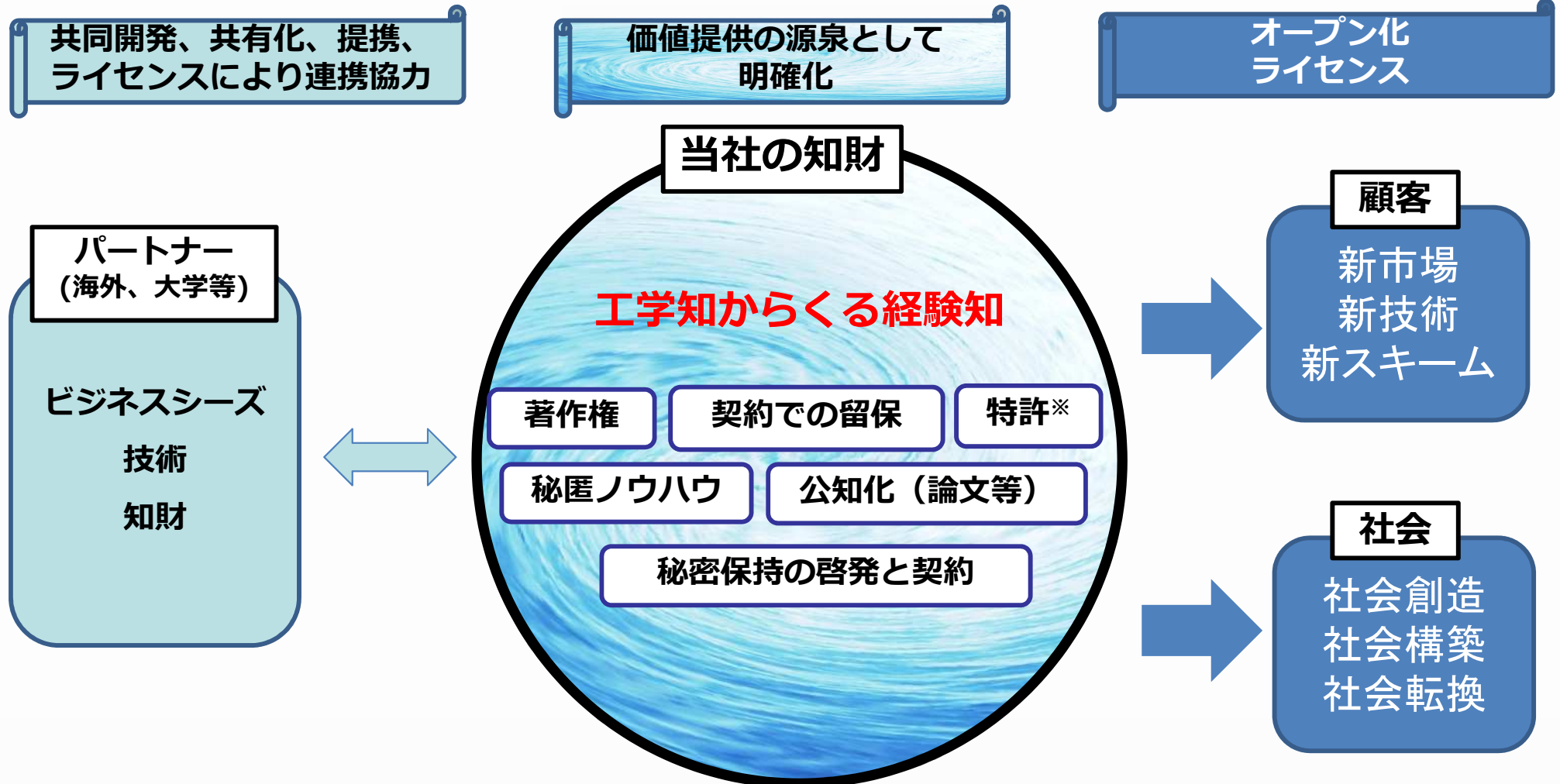
- 産学連携による工学知の提供
  - 東京大学 酒井 幹夫教授のアルゴリズムを導入
- 従来の気体や流体に加えて粉体のシミュレーションが可能
  - 複雑な形状を持つ装置の粉体シミュレーションや、従来は超高性能なコンピュータが必要だった固・液・気体の混合シミュレーションが実現可能
- 日本のみならず、世界市場へのマーケティングを展開
  - 日本粉体工業技術協会で粉体シミュレーション技術利用分科会を主催
  - SOLIDWORKS社の全米イベントに出展、マーケティングを展開



- 丁寧なマーケティング活動による課題発見
  - 視野の狭い技術者思考に陥ることなく真の課題を抽出
  - 見えている課題の奥にある本質的な問題を見極める
- 解決策を顧客が使いこなして初めて課題が解決する
  - 課題分析にとどまらず実運用にまでコミットする



## オープンイノベーションを加速して、 より広く、深く価値を提供



独立系企業として、多様な関係主体とつながって経験知を横展開

※ 2017年度 新興市場における情報通信分野企業で特許資産規模 第3位、特許件数 第1位 ((株)パテントリザルト調査)

## 継続的な事業拡大と人材育成を通じた企業価値の向上

### 事業の成長

- 経験曲線による高付加価値の追求
- 新規事業開発による事業拡大
- 本質的な問題の発見と解決策の実現による価値提供
- 知財のオープンな活用による付加価値向上

### 人材の育成

- 海外を含めた多様な人材の参画
- 自己成長の場の提供
- 産学連携による新たな工学知の探求

## アジアを窓口として優秀な海外人材を確保

### ▼ACFの様子



◆ASEAN CAREER FAIR (ACF)  
ASEANのトップ大学の学生が集まる合同企業説明会  
2018年2月においては、約150名がKKEのブースに来訪し  
会社説明会と採用選考を実施

### ▼現地大学での会社説明会



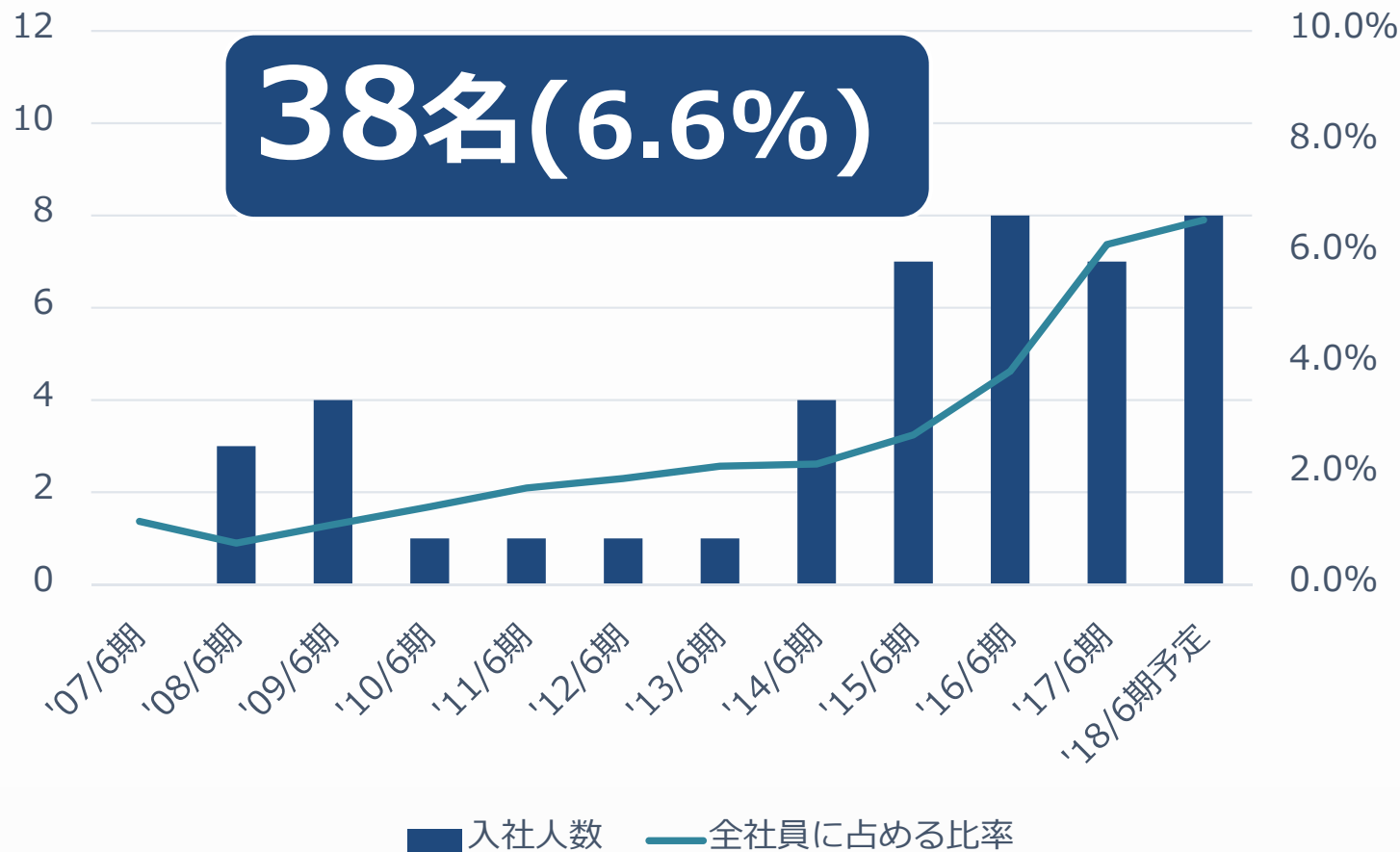
◆現地の大学における会社説明会  
当社に卒業生が毎年入社している現地の大学で  
説明会を実施するなど、リクルート活動に注力

### 2017年度採用実績

2017年12月入社3名、2018年4月入社予定3名

国籍：フィリピン、シンガポール、中国、インドネシア

## 外国籍所属状況



国籍例	人数
中華人民共和国	12
シンガポール	5
大韓民国	5
インドネシア	3
フィリピン	3
マレーシア	2
イラン	1
インド	1
スペイン	1
ベトナム	1
ペルー	1
ポーランド	1
ミャンマー	1
南アフリカ	1

# 人材の採用 近年の採用実績

## 2014年～2018年入社予定

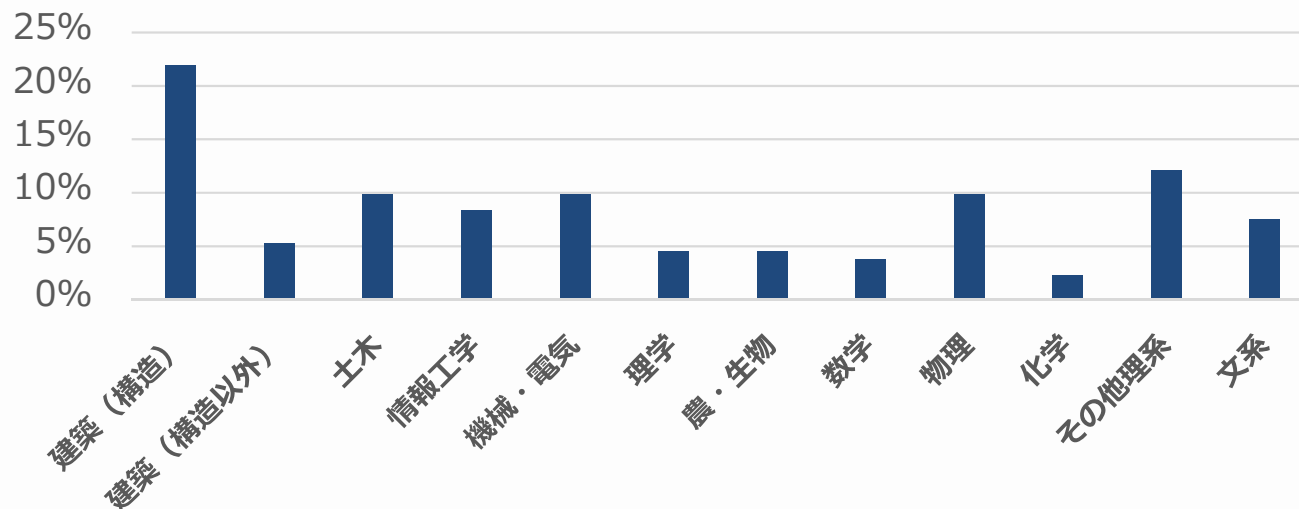
'14年～'18年  
入社（予定）合計

131名

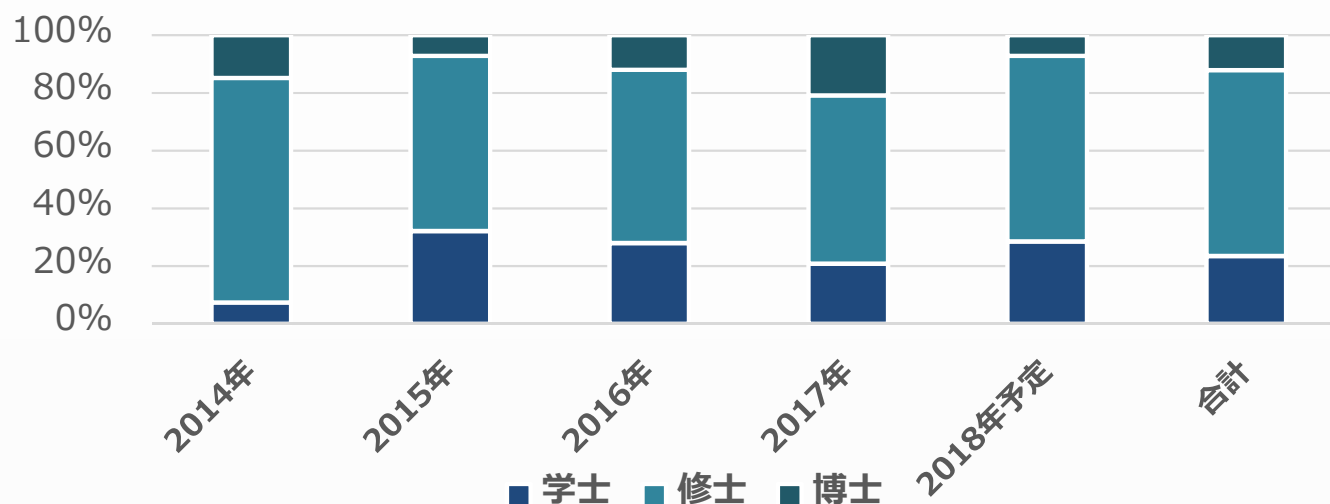
出身校上位 ('14/4月～'18/4月入社予定)	人数	比率
東京大学	15	11%
京都大学	10	8%
東京工業大学	9	7%
筑波大学	7	5%
東京理科大学	6	5%
九州大学	6	5%
千葉大学	6	5%
シンガポール国立大学	5	4%
大阪大学	5	4%
南洋理工大學	5	4%
日本大学	4	3%
早稲田大学	3	2%
バンドン工科大学	3	2%
熊本大学	3	2%
関西大学	3	2%

※国外の大学

### 出身専攻系統



### 学歴別比率





電力・ガス取引  
監視等委員会

デンバー駐在事務所

経済産業省

デンバー

シンガポール

東京大学

スタンフォード大学

KKE SINGAPORE  
PTE. LTD.  
Symphony Creative  
Solutions Pte. Ltd.

生産技術研究所との  
社会連携研究部門  
「未来の複雑社会システム  
のための数理工学」

Stanford Silicon Valley  
New Japan Project

**国内外を問わず、多様な場での経験を通じて人材を育成**

## 服部正奨学基金(服部賞)

毎年、創業者 故 服部正の命日に、  
当社の価値向上に著しく貢献した、または  
近い将来貢献が期待できる所員を表彰

### □ 第35回受賞者



創造工学部 社会シミュレーション室長 米山照彦

### □ 受賞理由

産官学連携を通じ、エネルギー分野における社会  
貢献について顕著な成果を出したことによる

## プロジェクト表彰

社会に貢献し他の模範となる  
24件のプロジェクトを表彰



## 大学・学会等の社外活動を通じた自己研鑽の奨励

- 積極的な社外活動の推奨
  - 学会・関連団体数 64団体
  - 社外団体での委員会・研究会等活動 115団体34名
  - 大学等での講師活動 16活動13名
  - 社外発表論文及び出版図書 107件



- シャドーワークの場の整備
  - 常時利用可能なライブラリを開設
  - 参考図書や集中作業スペース設置



## 開催のねらい

- “ファンづくり” 及び “深耕”
- つなぐ場の創出
- Professional Design & Engineering Firm  
としてのイメージ発信、浸透

## 開催実績

- 開催日：2017年10月24日（火）
- 会場：ハイアットリージェンシー東京
- 来場者：1,095名
- 基調講演：田原 総一郎 氏  
「デジタル社会ニッポン、徹底検証。  
～日本コンピュータ産業の黎明期から現在・未来まで～」



▲創業時の志と技術を振り返る  
「KKEの原点」展示コーナー



▲基調講演の様子

### 開催のねらい

- 社会シミュレーションの普及と教育現場での利活用促進

### 開催概要

- 開催日、会場：3月9日(金) 当社 本所新館にて
- アジェンダ：
  - ① 青山学院大学 教授 山影進氏 ご講演
  - ② 愛知県立衣台高等学校 教諭 井手広康氏 ご講演
  - ③ 研究者による最新の成果発表



▲前回の様子

### 当社開発のMAS(マルチエージェント・シミュレータ) 「artisoc」

- コンピュータ上で様々な社会現象を再現
- 500以上の大学・研究機関で利用

実社会における複雑な問題を解決するために  
人々の合意形成を支援

本日はお忙しい中お越しいただき  
誠にありがとうございました

今後とも何卒よろしくお願い致します

## 【お問い合わせ先】

### 財務部

T E L : 03-5342-1142

F A X : 03-5342-1242

E-M A I L : i r @ k k e . c o . j p

H. P. : <http://www.kke.co.jp>

*Innovating for a* **Wise Future**